

自己評価報告書 学校関係者評価報告書

(令和3年度)

愛知産業大学三河高等学校
通信制課程 単位制

目 次

I	学校概要	1
II	教育目標	
	(1) 学校法人 愛知産業大学建学の精神	2
	(2) 愛知産業大学三河高等学校通信制課程(単位制)の教育目標	2
	(3) 愛知産業大学三河高等学校通信制課程(単位制)の教育指導方針	2
III	重点目標の達成及び改善方策	
	(1) 学習指導	3
	(2) 生活指導	4
	(3) 進路指導	5
	(4) 生徒相談	6
	(5) 生徒募集	7
	(6) 総 務	8
	(7) 校 務	9
	(8) 事 務	10
IV	本年度の具体的な取り組み	11
V	来年度の具体的な取り組み予定	11
VI	今後の方向性	11
		12
	生徒アンケート 集計結果	14
		16
	保護者アンケート 集計結果	17
		19

I 学校の概要

(1) 学校名

愛知産業大学三河高等学校

(2) 課程

通信制課程

(3) 所在地

〒444-3523

愛知県岡崎市藤川町西川向1-20

TEL : 0564-48-5230 FAX : 0564-48-8775

ホームページ : <http://asu-mikawa-tani.jp>

(4) 沿革

昭和58年 三河高等学校の創立が認可され、校舎を岡崎市字原山12番地の10に置く。

昭和58年 三河高等学校を開設。全日制課程の普通科と電気科を置く。

昭和60年 三河高等学校の全日制課程に情報処理科と通信制課程を設置する。

平成3年 愛知産業大学の設置が認可され、校舎を岡崎市字原山12番地の5に置く。

平成7年 三河高等学校の校名を愛知産業大学三河高等学校に改称する。

平成10年 愛知産業大学三河高等学校に単位制（普通科）を設置する。

平成16年 愛知産業大学三河高等学校の単位制新校舎が完成。

(5) 通信制課程の構成

学年制の生徒が在籍する技能連携校（専門学校高等課程）と本校独自の単位制で構成されている。

学年制は普通科であり技能連携を結ぶことによって、専門学校の単位を本校の単位として認定、年回3回のスクーリングを本校で行い高等学校卒業資格を与えることができる。

本校単位制普通科には、2つのコース（午前コース・午後コース）を設けている。また、午後コースは少人数制授業（10人前後）を行っている。通学型通信制で大学生のように自分で選んだ授業を受講し、3年間で74単位取得することで通信制の卒業資格を得ることができる。

(6) 技能連携校

名古屋情報専門学校 高等課程

あいちビジネス専門学校 高等課程

西尾高等家政専門学校 高等課程

名古屋調理師専門学校

専修学校東洋調理技術学院
 豊橋ファッション・ビジネス専門学校
 大岡学園ファッション文化専門学校
 あいち情報専門学校 高等課程

(7) 技能連携校の学科構成

名古屋情報専門学校 高等課程	普通科
あいちビジネス専門学校 高等課程	普通科
西尾高等家政専門学校 高等課程	普通科
名古屋調理師専門学校	普通科
専修学校東洋調理技術学院	普通科
豊橋ファッション・ビジネス専門学校	普通科
大岡学園ファッション文化専門学校	普通科
あいち情報専門学校 高等課程	普通科

(8) 生徒数及び教職員数（令和3年5月1日現在）

	単位制普通科		連携校普通科		計
	男子	女子	男子	女子	
1年生	28	31	447	148	654
2年生	49	38	414	124	625
3年生	79	56	452	118	705
計	156	125	1313	390	1984

教職員数13名(兼務含む) 校長(兼務) 教頭 教員6名 兼任教員5名
 精神保健福祉士1名(兼任) 事務職員2名

II 教育目標

(1) 学校法人 愛知産業大学建学の精神

豊かな知性と誠実な心を持ち 社会に貢献できる人材を育成する

(2) 愛知産業大学三河高等学校通信制課程（単位制）の教育目標

本校通信制課程単位制は、転学希望生徒や高校中退生徒の再チャレンジの場として、また不登校気味中高生の成長の場として、高校卒業資格の取得を第一目標に指導している。また、卒業後の進路指導についても力を入れている。

(3) 愛知産業大学三河高等学校通信制課程（単位制）の教育指導方針

単位制の多くは、中学校時に不登校であった生徒、他の高等学校からの転入学生、学び直しを希望する編入学生である。個性豊かでいろいろな問題を抱えているが、その目標は「高等学校卒業」である。その希望に応えるため、家庭との連絡を密にして意欲と自覚を促し、単位取得と退学防止をはかる。また、わかりやすい学習指導、進路指導、悩み相談を行い、将来のために次のステージへつなげる。

Ⅲ 重点目標の達成及び改善方策

①評価方法

各重点項目に対して、1点から3点で評価する。

良い …… 3点 普通 …… 2点 悪い …… 1点
 どちらでもない …… 評価しない

②評価対象者

本校通信制専任教職員 8名

(1)学習指導 平均 2.9 (昨年度2.8)

重点目標	教員評価	
	R3	R2
① 各科目の単位修得率を向上させる努力をする。	3.0	3.0
② 生徒の基礎学力向上に努める。	3.0	2.6
③ 試験による不正行為をなくす。	3.0	3.0
④ 欠課オーバーによる科目不認定者を減少させる。	2.8	2.6
⑤ 「よくわかる授業」の実践に心掛ける。	3.0	2.9
⑥ 授業中のマナー指導の徹底(携帯電話・スマートフォンの使用禁止、居眠り)	3.0	2.9
⑦ 授業の視聴覚教材を作成する。	2.8	2.8
⑧ 技能連携校スクーリングの新教材の作成と確認を行う。	2.3	2.4
⑨ 技能連携校におけるスクーリングを効果的に行う。	2.7	2.5
⑩ 総合学習(体験学習)を効果的に行っている。	3.0	2.9

(考察)

評価としては昨年度とほぼ変わらない。しかし、「②生徒の基礎学力向上に努める」が昨年度より0.4ポイント前年と比べて評価が高まっている。これは「学び直し講座」などを通して少しでも学力を向上させたいとの各教員の取り組みの表れであると思う。本校には学力に対する劣等感や自信のない生徒が多いため、今後も各教員が同一歩調の意識で取り組んでいきたいと思う。連携校のスクーリングについては年間3日間の実施であるが、コロナの影響もあり、今年度は現地校で実施せざるを得ない場合もあった。生徒たちが少しでも満足するような時には映像授業に加えて「対面授業」の実施も検討している。有意義なスクーリングでありたい。

【課題】

- ・前籍校や中学時不登校などの状況から学力差が生じてしまう。
- ・横着な理由で欠席する生徒に不合格者が多い。
- ・技能連携校のスクーリングでは教材の古さが一部でみられる。
- ・教員側のマンネリ感(意識)が一部で感じられる。

【改善方策】

- ・学び直し、進学などの特別講座などを活用し少しでも「分かる」ことを体得させる。
- ・資格・検定など、単位とは別の機会を検討し意欲を高めたい。
- ・技能連携校スクーリングでは教材のリニューアルをすすめる。
- ・教員のマンネリ感を防ぐため教員相互の授業見学などを導入する。
(教える以上は常に授業研鑽に励むことは当然である。)

(2)生活指導

平均 2.5 (昨年度2.4)

重点目標	教員評価	
	R3	R2
① 登下校時のマナーはしっかりしている。	2.2	2.0
② 校内外の巡視を行い、喫煙防止を図る。	2.5	2.4
③ 車両等による通学者は許可を得てマナーを守り通学している。	2.5	2.1
④ 公共交通機関利用時のマナーとモラルの意識向上を図る。	2.2	2.1
⑤ 交通安全に対する意識を持つように指導している。	2.2	2.4
⑥ 生徒自身に、登校日を正確に把握させ、確実に登校させる。	2.8	2.8
⑦ 健康診断通知配付と共に、治療が必要な生徒に対して治療勧告を配付する。	3.0	3.0

(考察)

生徒の登下校の実態はなかなか明確に把握できないが、車両などのマナー違反は減少してきた。1号線での登下校指導で問題の未然防止となっている。

それぞれの生徒の登校がバラバラであることもあり生徒間のトラブルもなく、授業中のスマホ使用やよそ事などは見られなくなった。常に全生徒の状況を確認しながら対応している。

健康診断後の治療勧告報告書の提出は、例年通りほぼ全生徒ができています。

【課題】

- ・本校生に関係するバイク・自動車の違反駐輪(道の駅、むらさき館)が一部みられる。
- ・喫煙行為(駅周辺、1号線)がまだまだみられる。
- ・全日制の生徒や大学生とのトラブルも懸念される。
- ・公共交通機関利用者が多い中、キセルなど問題行動も懸念される。

【改善方策】

- ・1号線での登下校指導や巡視で可能な範囲で問題行動を未然に防ぐ。
- ・全日制や大学との連絡を密にしてトラブル防止に努める。
- ・喫煙等の違反生徒には保護者来校をお願いして指導する。(その間授業は欠席扱い)
* 特に校内での喫煙行為は退学処分とする。(校内掲示で周知)
- ・特別活動や体験学習などで、マナー遵守やモラル向上の意識を持たせる。
- ・健康診断を通して基本的な生活習慣の確立と健康への意識を持たせる。

(3)進路指導

平均 2.7 (昨年度2.5)

重点目標	教員評価	
	R3	R2
① 進学率を高める努力をしている。	2.5	2.5
② 学校斡旋就職希望生徒の内定率の向上。	2.7	2.4
③ フリーター・ニート等による進路未決定者の減少を目指す。	2.7	2.4
④ 担任が自クラスの進路を把握する。	2.7	2.8
⑤ 愛産大等姉妹校への進学を推奨し、増加を目指す。	2.5	2.4
⑥ 生徒が、能力・適性に合った進路を見つけられる為の面接指導を行う。	3.0	2.8
⑦ 就職説明会、姉妹校説明会への出席を指導する。	2.8	2.6

(考察)

・数年前と比べて進路指導が正常化されてきた。進学・就職それぞれの担当者による丁寧な指導が功を奏している。「通信制高校でもしっかりした進路指導が受けられる」との評価が定着されつつある。(特に進学校からの転学者には「再チャレンジ」する機会を支援したい。)

しかし、一方ではいい加減な気持ちで進路を考える生徒もいるので、特に学校推薦で進学・就職する際には「誓約書」を提出させて意識を持たせている。

また、進路先で精神的に不安定となり退学・退職などに繋がるケースもあることから、より一層慎重な進路指導が求められる。

・姉妹校への進学については、様々な機会(体験学習など)や姉妹校としての特典などを考慮し双方が満足するようにしたい。生徒とのコミュニケーションも大切である。

【課題】

- ・進路について真面目に考えていない生徒が少なくない。
- ・安易な意識(授業料減免など)で進学するとすぐに退学する場合がある。
- ・同様に自分の適性を考慮しないまま就職するとすぐに退職してしまう場合もある。
- ・基本的に様々な理由(特に精神面)での転入学生が多く進路指導は難しい面がある。
- ・奨学金の有効な活用ができていない。(説明会は実施)
- ・安易な退学、退職を少しでも防ぎたい。

【改善方策】

- ・転入学する段階から進路に対する意識を持たせる。(面接での質問事項とする)
- ・3年生は進路調査の結果を有効に活用する。
- ・オープンキャンパスや企業見学に積極的に参加させる。
- ・校外模試などを有効に活用する。
- ・進路情報を積極的に伝える機会を増やしたい。(今年度はコロナで説明会中止)
- ・姉妹校への進学については、総合探究の時間や講座、それぞれが実施するイベントを有効活用して慎重に斡旋する。

(4) 生徒相談

平均 2.9 (昨年度2.7)

重点目標	教員評価	
	R3	R2
① 不登校生徒のカウンセリングを促す。	2.8	2.8
② 欠席過多の生徒や不登校気味の生徒への家庭連絡を適切に行う。(家庭との連絡を密にする)	3.0	2.9
③ カウンセリングを実施して、登校率を向上させる。	2.7	2.5
④ 全日制スクールカウンセラーとの連携をとり実施している。	3.0	2.8

(考察)

- ・学校の特性上不登校生徒や精神的に問題のある生徒の受け入れは宿命である。若年人口の減少で中学生数・高校生数は減少している中で、不登校の生徒数は減少するどころか増加傾向にあり、大きな社会問題となっている。
- ・そんな中で様々な病歴を持つ生徒の入学が増えつつあり、少しでも社会のニーズに対応するべく取り組んでいる。専門のカウンセラーによるカウンセリングは常に予約がある状況である。ただし家庭内の問題にまで立ち入ることはできないことや、個人情報の扱いの問題もあり、学校としての対応には限界があるのも事実である。
- ・本校として基本は「高校卒業資格」の取得を念頭に取り組んでいる。

【課題】

- ・担任制度を設けてはいるが、多くの場合生徒との関わりは授業だけになってしまう。
- ・専門のカウンセリングが週1日(午前)だけなので受診者が限られる。
- ・保護者との連携を徹底しているが、中には全く子供任せの保護者もいる。
- ・午後コースは「少人数制」で募集しているが満席の授業が増えている。
- ・特にコロナの関係で神経質(不安定)になる生徒が増えた。
- ・女子生徒の扱いは男性教員では限界がある。

【改善方策】

- ・担任外の教員も時間のある可能な範囲で生徒とのコミュニケーションをとる。
- ・個人面談(保護者懇談会)週間などを積極的に活用し生徒・保護者との関係を構築する。
- ・カウンセリングを少なくとももう一日増やすか、終日対応にしたい。
- ・学校外(保護施設)などとの連携も必要である。
- ・各教員が「声かけ」の大切さを意識して生徒に対応する。
- ・女子生徒対応に関しては、どうしても女子教員の常駐が不可欠である。

(5) 生徒募集

平均 2.9 (昨年度2.8)

重点目標	教員評価	
	R3	R2
① 年間目標入学者数を確保する努力をしている。	3.0	2.9
② 入学相談者に対する入学率を向上させる。	3.0	2.9
③ 学校説明会を計画的・効果的に実施する。	3.0	2.9
④ 学校説明会参加人数が昨年を上回るよう努力する。	2.8	2.8
⑤ 退学者数を少なくする努力をしている。	2.8	2.9
⑥ 在籍数の多い高校を訪問して、現況報告する。	2.8	2.9
⑦ 業者による合同説明会に参加して、入学者数増に努める。	2.5	2.8

(考察)

・定員120名(年間入学者数)であるが、これまではそれを超える転入学生を迎えている。しかし、その年の公立高校の受験(倍率)状況などにより増減がみられる。定員に満たない公立高校が増えつつあり、本来全日制は厳しい生徒も入学できることが多くなることも影響している。また、中には生活面で問題のある生徒が転入学することで、地域や真面目な一般生徒への悪影響となっているとなっている。誰でも受け入れた時代から「真面目に学ぶ生徒」に絞った通信制高校を模索したい。

中学校からの入学は多少の増減はあるものの、三河地区の中学校に徐々に認識されつつある。特に本校の午後コースは不登校生への選択肢の一つになりつつある。

【課題】

- ・広域性の通信制高校の宣伝力が大きく、そちらに流れるケースが少ない。
- ・生活面で問題のある生徒の転入学で本校が悪いイメージを持たれている。
- ・前籍校から安易な指導を受けることがあり、トラブルに繋がることもある。
- ・生徒数増加に伴う対応が遅れている。(教員数、施設、その他)

【改善方策】

- ・訪問(高校、中学校)の再検討
それぞれのタイミングを念頭に年間計画を立てて訪問しているが、さらに丁寧な訪問を心掛けたい。事務手続きに関しても可能な範囲で説明する。
- ・説明会(校内外)の活用
校内7回、校外(豊橋、岡崎、安城)の説明会を有効活用し、少しでもアピールしたい。
- ・ホームページのあり方
閲覧者が興味を湧く内容を基本として、主な活動を頻繁にアップしていきたい。
- ・入学生確保に向けた校舎、教室、講座数、教員数の検討をする。

(6) 総務

平均 2.5 (昨年度2.7)

重点目標	教員評価	
	R3	R2
① ホームページの更新は時宜を得て行う。	2.0	2.6
② ホームページの資料請求・学校説明会の申し込みを増加させる。	2.5	2.6
③ 学校の情報を「メール発信システム」で適切に提供する。	2.7	2.6
④ 学校説明会の案内を効果的に配付する。	2.7	3.0

(考察)

- ・前年度と比べて反省することが多い。
ホームページのあり方が募集を左右することを念頭に常にバージョンアップや学校生活のアップをしている。
より効率的な活用が求められている。

【課題】

- ・ホームページは可能な限り頻繁な更新が求められる。
- ・学校行事が全日制や他の広域制の通信高校と比べて少ないことも課題ではある。
- ・「メール登録」は以前よりは増えているが保護者の協力が得られない場合がある。
- ・各教員も常に情報発信の意識をもって取り組みたい。

【改善方策】

- ・ホームページは最新の情報がアップされているようにする。
- ・ホームページを通しての問い合わせや募集に関する質問には早急に対応する。
- ・メール登録については、生徒だけでなく保護者にも可能な範囲で義務付けたい。
- ・令和4年4月ホームページリニューアル

(7)校務

平均 2.6 (昨年度2.5)

重点目標	教員評価	
	R3	R2
① 校外における美化活動を行っている。	2.7	2.6
② 環境整備に気を配り、ゴミを減少させる。	2.7	2.6
③ 省エネを推進し、エネルギー委員会の目標値「前年度比で1%」 となるように努力し、意識の高揚を図る。	2.7	2.1
④ 日直を中心とした校内整備を行う。	2.3	2.6
⑤ 各階担当者・教室管理者による教室整備と校内美化に努める。	2.7	2.6

(考察)

- ・校舎周辺は年々成長する樹木に囲まれており、定期的な整備が必要である。
以前は隣人とのトラブルがあったがとりあえず解決している。
しかし常に近隣住民との良好な関係を築くために校内外の整備は欠かせない。
- ・校舎自体が老朽化しており長期的な視野に立っての環境整備も検討したい。
- ・コロナ対応として各階に除菌薬、玄関にサーマルカメラを設置している。
- ・全職員で毎日除菌を励行している。
- ・「省エネ」に対する意識をさらに高める必要がある。
- ・「無駄のない職場」を構築したい。

【課題】

- ・平成16年に建築された校舎も築20年に近づいている。
- ・環境的に周囲が樹木で囲まれていることもあり校舎外壁の老朽化が著しい。
- ・周囲の樹木を可能な範囲で伐採・処分しているが、どうしても「害虫」や「害獣」の懸念は払しょくできない。
- ・技能連携校のスクーリング授業では映像授業が中心となるが、機材が古いいためブルーレイ対応などの整備が遅れている。
- ・生徒、教員ともに使用機が老朽化している。
- ・相変わらず規範意識に欠ける生徒が一部存在し、登下校時のポイ捨てがある。

【改善方策】

- ・長期的な視野に立ち、学校全体の環境整備を進める。
- ・周辺住民と連絡を取りながら周辺整備に取り組む。
- ・登下校指導をしながら生徒を観察し予防措置をとる。
- ・各教員に一層の省エネ意識を持たせ、修理可能なものは自ら修理する。
- ・教室管理教員に教室環境の整備について実践させる。
- ・教員机椅子、生徒用机椅子の新規購入

(8) 事務関係

平均 2.8 (昨年度2.5)

重点目標	教員評価	
	R3	R2
① 業務の効率化を図り、残業ゼロを目指す。	2.7	2.1
② 職員室の基幹データと共有し、データの一元管理を目指す。	2.8	2.5
③ 電話等の対応を適切に行う。	3.0	2.8
④ 入学相談等、入学に関わる事務を適切に行う。	3.0	2.8
⑤ 就学支援金事務作業を円滑に行う。	2.7	2.4

(考察)

- ・「働き方改革」の方針のもと、今年度は残業時間が減少し①の評価が改善されている。
各職員が仕事の効率化を念頭に実践した結果であろう。
その一方で業務内容が杜撰なものであっては意味がないので注意している。
- ・デジタル化の推進では専門先生のご尽力もあり徐々に進んでいるが、8校ある技能連携校の中には長年独自のシステムで整備されていることで、理解と協力が困難な学校もある。
- ・単位制生徒約300名、連携校生徒約1600名の生徒の管理は事務職員が2名(1名は派遣)では到底困難であり、場合によって教員が補助している。
- ・指導要録も「手書きから手入力」へ進歩したものの、二度手間三度手間の状態が残存する。
- ・ミスを防止するためにもさらなる効率化が急務の状態である。

【課題】

- ・急速なデジタル化に対応できる専門知識を持つ職員が少ない。
- ・相変わらず多忙な時期(年度末)になると勤務時間がオーバーする。
- ・新たな支援金制度の導入もあり事務職員が1人(派遣1名)に業務が集中してしまう。
- ・まだ一部に手入力作業が残っている。(教員自身の問題もある)

【改善方策】

- ・事務職員の増員(専任2名+派遣1名)が急務である。
- ・できれば事務処理を本校単位制分と技能連携校分とに分業したい。
- ・多忙な時期は可能な範囲で教員が手伝いながら対応するが教員に限られる。
- ・引き続き現在進行中のデジタル化を早急に完成させる。
- ・できれば電話回線を1つ増やしてほしい。

IV 本年度(令和3年度)の具体的な取り組み

- ・単位制校舎によるカウンセリング実施(スクールカウンセリング常駐)
- ・体験学習講座新設(自衛隊体験・トリミング体験)
- ・連携校スクーリング単位制校舎実施
- ・連携校スクーリングの対面授業の実施
- ・校外学校説明会の実施回数増加
- ・連携校スクーリング単位制校舎実施のため教室設備充実(暗幕カーテン設置)

V 来年度(令和4年度)の具体的な取り組み予定

- ・連携校スクーリング実施について・・・9月の平日に実施(土曜出勤超過の防止策)
- ・体験学習講座新設・・・新講座導入(理学・作業療法:電波学園との協力)
- ・進学のための奨学金制度説明会の実施・・・4月22日実施
- ・校舎外美化活動の充実(樹木の伐採等)・・・そのための機材購入
- ・視聴覚機器の充実(プロジェクター等)
- ・学校ホームページ(リニューアル完了)の有効活用
- ・学校説明会、外部説明会、学校訪問(高校・中学校)への積極的参加

VI 今後の方向性

本校通信制課程単位制

生徒数減少の状況の中にあって不登校生徒数は一定数存在する現在、生徒の進路先・高校卒業資格取得の観点から今まで以上に通信制高校の存在が注目されている。

2003年の法律改正による規制緩和で株式会社が学校を設立できるようになったことから、広域制の通信制高校が増加している。中には多額の広告費を遣って大規模に生徒を募集する学校や、「楽しさ」をアピールする学校、そしてスポーツアスリートを集める高校も設立されている。県内でも中京大中京高校が令和5年度より通信制を開校するとの話もある。

乱立する通信制高校の中にあって本校は「1条校」であることと、愛産大三河高校というブランド力行使して今後も生徒確保に取り組みたいと思う。地味ではあるが他校とは違う「面倒見のよさ」を基本に、年齢を超えた幅広い年代層も受け入れる生涯学習の場としても存在をアピールしたい。

長期的な目標(継続目標)

- ・就職に直結する講座の新設(主に資格取得)
 - 〈例〉英会話・留学講座 電気工事士資格取得講座 情報処理資格取得講座
 - 危険物取扱資格取得講座 公務員試験合格講座 メイク・ネイル講座など
- ・新コースの設置
 - 〈例〉進学コース・・・大学受験をめざす生徒に対する別カリキュラムでの授業
 - 日曜コース・・・働きながら学びたい、生涯学習希望のコース
- ・進路指導室の新設
- ・校外社会研修
- ・部活動、サークルの開講

技能連携校(8校)

令和3年度8校となり在籍者数も増加した。いずれも技能連携を結び毎年3回のスクーリングを行い本校の卒業を認めている。従来は全日制の校舎をお借りして実施したが、すべて単位制校舎での実施となりほぼ軌道に乗ったスクーリングとなっている。映像授業中心の現状を再検討し、少しずつライブ授業など内容の濃い授業を展開したい。

「愛知県内に設置されている専修学校高等課程」の生徒に対する授業料軽減補助制度が始まり定着しつつあるが、今後内容の変更や新たな補助金制度の導入などが予想される。

それらの情報を一早く入手すると同時に、本校としての対応を検討したいと思う。

今後技能連携校が増えれば学園にとっても増収益となるため、基本的には前向きに受け止めたいが、その場合当然ながら受け入れる体制(施設・教員数)も整えておくことが肝要である。

以上

アンケート調査

令和3年度生徒アンケート

評価欄

A:よくあてはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

適当であると思われるところに○をつけてください。

評価観点		A	B	C	D	E
教育方針 学校経営	1	教育方針に沿った指導をしている。				
	2	落ち着いた学校生活を送っている。				
	3	生徒の可能性を伸ばすそうとしている。				
	4	施設・設備に満足している。				
家庭との連絡	5	連絡文書等は確実に届けている。				
	6	情報は絆ネット、電話等で発信している。				
教職員	7	教員に対して親しみやすさを感じている。				
	8	教員は悩みや相談事に優しく対応してくれる。				
	9	事務職員は親切に対応している。				
学習指導	10	理解しやすい授業に努めている。				
	11	熱心な授業をしている。				
	12	落ち着いた雰囲気の中で授業を受けている。				
	13	総合的な学習(体験学習)の内容は充実している。				
生徒指導	14	わからないところを丁寧に教えてくれている。				
	15	社会のルールを守るように指導をしている。				
進路指導	16	いじめやトラブルがないように指導がしている。				
	17	役に立つ資料や情報が常備されている。				
健康管理 安全指導	18	進路についての相談や説明を丁寧にしている。				
	19	身体健康維持に対する指導をしている。				
	20	臨床心理士(全日制)がいるので安心感が持てる。				
その他	21	交通事故等の安全指導をしている。				
	22	地震や台風など時の適切な指示をしている。				
	23	校舎内の環境整備や美化に努めている。				

アンケートのご協力ありがとうございました。

令和3年度 生徒アンケート 集計結果

評価欄

A:よくあてはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

評価観点		A	B	C	D	E	
教育方針	1	教育方針に沿った指導をしている。	50%	39%	3%	0%	8%
	2	落ち着いた学校生活を送っている。	75%	19%	3%	0%	3%
	3	生徒の可能性を伸ばすそうとしている。	39%	47%	8%	0%	6%
	4	施設・設備に満足している。	25%	15%	30%	13%	17%
学校経営	考察	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針についてはどの程度理解しているのか？疑問ではある。 ・特に午後コースの生徒にとっては落ち着いた生活がみられ満足度が高い。 ・明確な目標のある生徒については全力で進路サポートをしてあげたい。 ・施設、設備については満足度が年々低くなっている。 <p>そんな中で入学生徒数の微増に伴い、各講座の収容人数が一部限界に達している。教室増設など今後は施設の充実が必要である。(継続的な課題である)</p>					
家庭との連絡	5	連絡文書等は確実に届けている。	75%	19%	6%	0%	3%
	6	情報は絆ネット、電話等で発信している。	67%	17%	3%	3%	11%
家庭との連絡	考察	<ul style="list-style-type: none"> ・S Tなどがないことから学校からの連絡は電話とメールが基本である。 ・メール登録を徹底させたいがまだまだ十分ではない。(登録割合 約60%) ・学校からの着信があった場合は必ず掛けなおすように指導している。 					
教職員	7	教員に対して親しみやすさを感じている。	56%	33%	8%	0%	3%
	8	悩みや相談事に優しく対応してくれる。	53%	31%	11%	0%	6%
	9	事務職員は親切に対応している。	69%	22%	6%	0%	3%
教職員	考察	<ul style="list-style-type: none"> ・転入学生の中には教師に対して不信感や、学校そのものへの敵愾心を持つ場合があり、素直に反応できないケースがみられる。 その一方で教師に対して必要以上に接触を求める生徒もみられる。 ・9月の保護者懇談会などを有効的に活用したい。 ・スクールカウンセラーの存在は生徒・保護者に対して一定の安心感を与えている。ただ、週1日(金曜日午前中)ではその対応にも限界がある。 ・精神的な疾患を持つ生徒は全教員が情報を共有して対応している。 ・事務職員の対応については昨年度と同様の結果であったが、実際は少ない人員で技能連携校の事務も扱っていることもあり一部教員も手伝っている。 					

評価観点		A	B	C	D	E	
学習指導	10	理解しやすい授業に努めている。	39%	47%	8%	0%	6%
	11	熱心な授業をしている。	47%	28%	14%	3%	8%
	12	落ち着いた雰囲気の中で授業を受けている。	75%	17%	3%	0%	6%
	13	総合的な探究の内容は充実している。	31%	19%	8%	3%	39%
	14	わからない所を丁寧に教えてくれている。	56%	25%	8%	3%	8%
学習指導	考察	<ul style="list-style-type: none"> ・10「理解しやすい授業」の評価が下がっている。様々な生徒が混在してはいるが裏を返せば授業に対する生徒の意識が以前より高まっていることでもある。全教員が「わかりやすい」・「興味をもちやすい」に重点を置いて対応したい。 ・視聴覚教材を有効活用して少しでも理解に役立てたい。 ・午後コースの生徒は学習意欲の高いので、新しい試みも検討したい。 					
生徒指導	15	社会のルールを守るよう指導をしている。	61%	25%	8%	3%	3%
	16	トラブルがないように指導をしている。	47%	28%	6%	0%	19%
生徒指導	考察	<ul style="list-style-type: none"> ・問題行動防止については、少ない教員で可能な範囲で取り組んでいる。 ・特に午前コースの中には心配な生徒が少なくないので注意を要する。 					
進路指導	17	役に立つ資料や情報が常備されている。	42%	40%	7%	3%	8%
	18	進路の相談や説明を丁寧にしている。	47%	31%	6%	0%	17%
進路指導	考察	<ul style="list-style-type: none"> ・進学、就職ともに学校推薦希望の場合は「誓約書」を提出させている。 ・進路指導を強化してから、いい加減な進路を希望する生徒が減少した。 					
健康管理安全指導	19	身体健康維持に対する指導をしている。	22%	36%	8%	3%	31%
	20	臨床心理士がいるので安心感が持てる。	19%	19%	8%	0%	53%
	21	交通事故等の安全指導をしている。	25%	36%	6%	0%	33%
健康管理安全指導	考察	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断が義務付けられているので有効に活用したい。(保護者との連携) ・スクールカウンセラーの希望者が多く、できれば時間を増やしてほしい。 					
その他	22	地震や台風時の適切な指示をしている。	33%	25%	3%	6%	33%
	23	校舎内の環境整備や美化に努めている。	53%	31%	3%	0%	14%
その他	考察	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の代替策として、保健体育の授業内に防災訓練のDVDを視聴させている。 ・校舎内外の美化活動は近隣住民の方々に迷惑をかけないように実施している。 					

令和3年度保護者アンケート

評価欄

A:よくあてはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない

D:まったくあてはまらない E:わからない

適当であると思われるところに○をつけてください。

評価観点			A	B	C	D	E
教育方針	1	学校の教育目標や教育方針に理解できる。					
	2	学校は特色ある教育活動を行っている。					
	3	学校は生徒の一人一人の個性を尊重している。					
家庭との連携	4	単位取得を含めたコースの特徴を充分説明している。					
	5	連絡文書等は確実に届けている。					
	6	情報は絆ネット、電話等で発信している。					
学習指導	7	教員に対して親しみやすさを感じている。					
	8	教員は悩みや相談事に優しく対応してくれる。					
	9	事務職員は親切に対応している。					
	10	教員は理解しやすい授業に努めている。					
生活指導	11	社会のルールを守るように指導が適切に行われている。					
	12	いじめやトラブルがないように指導がしている。					
進路指導	13	生徒個々に対して、適切な進路指導を行っている。					
	14	進学・就職説明会など適切に行われている。					
その他	15	総合的な学習(体験学習)の内容は充実している。					
	16	校舎内の環境整備や美化に努めている。					
	17	役に立つ資料や情報が常備されている。					
	18	施設・設備等の環境整備は充実している。					
	19	健康診断などの身体健康維持に対する指導をしている。					
	20	臨床心理士(全日制)がいるので安心感が持てる。					

アンケートのご協力ありがとうございました。

令和3年度 保護者アンケート 集計結果

評価欄

A:よくあてはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

評価観点		A	B	C	D	E	
教育 方針	1	学校の教育目標や教育方針に理解できる。	50%	44%	3%	0%	3%
	2	学校は特色ある教育活動を行っている。	32%	35%	12%	0%	21%
	3	学校は生徒の個々の個性を尊重している。	50%	44%	0%	0%	6%
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に関心のない保護者が多い反面、過度に期待してくる保護者もいる。 ・「楽しさ」を前面に出しての通信制学校ではないことを再認識したい。 ・生徒が「再スタート」、「再チャレンジ」できる学校でありたい。 						
家庭 と の 連 絡	4	単位取得を含めたコースの特徴を充分説明している。	38%	59%	3%	0%	0%
	5	連絡文書等は確実に届けている。	68%	29%	0%	0%	3%
	6	情報は絆ネット、電話等で発信している。	68%	29%	0%	0%	3%
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・「通信制」「単位制」の制度を理解できない保護者には丁寧な説明を心がけたい。 ・基本的に生徒の問題は保護者に伝えるが連絡の取りにくい保護者がいる。 ・保護者、生徒に絆ネットの登録をお願いしているが万全ではない。 						
学 習 指 導	7	教員に対して親しみやすさを感じている。	47%	32%	12%	0%	9%
	8	悩みや相談事に優しく対応してくれる。	41%	38%	15%	0%	6%
	9	総合的な学習（体験学習）の内容は充実している。	35%	32%	6%	0%	26%
	10	教員は理解しやすい授業に努めている。	38%	26%	12%	0%	24%
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な事情で入学する生徒が大半なので、各教員は常に丁寧に親切な対応を心掛けている。そんな中で良好な関係が構築できれば幸いである。 ・保護者懇談会は年に1回任意で実施しているが徐々に増加しつつある。場合によっては機会を増やすことも検討したい。 ・総合学習での体験学習は年々充実しており、生徒の進路学習の一環となっている。更なる拡充を検討したい。 ・マナビメント（進学講座・学び直し講座）の受講者が徐々に増えつつある。少しでも生徒のニーズに応えたい。 ・生徒間の学力は中学校レベルから進学校レベルまで格差があるため、授業内容や試験は中間程度のレベルを意識して展開している。 						

評価観点		A	B	C	D	E	
生活指導	11	社会のルールを守るように指導が適切に行われている。	32%	32%	3%	3%	39%
	12	トラブルがないように指導がしている。	29%	35%	9%	0%	26%
考察		<ul style="list-style-type: none"> 一部生徒の規範意識の欠如による登下校時のマナーに問題があり、なかなか改善されない（喫煙・バイク等）。少ない教員で対応しているが限界もあることから、場合によっては警察対応もお願いしたい。 原則週2日の登校であることから「いじめ」に類することはほとんど表面化しないが、常に生徒の行動はしっかり把握する必要がある。 ネットについてのトラブルには厳重に注意を払う必要がある。 					
進路指導	13	生徒個々に対して、適切な進路指導を行っている。	35%	29%	9%	0%	26%
	14	進学・就職説明会など適切に行われている。	32%	26%	9%	3%	29%
考察		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の進路はほぼ例年三極化している。（進学・就職・自主） ここ数年進学する生徒が増加傾向にあるので一層の体制充実が急務となっている。 安易な進路は退職・退学に繋がることを念頭に指導しなければならない。 					
その他	15	事務職員は親切に対応している。	44%	35%	3%	0%	18%
	16	校舎内の環境整備や美化に努めている。	45%	42%	11%	0%	3%
	17	役に立つ資料や情報が常備されている。	21%	38%	3%	0%	38%
	18	施設・設備等の環境整備は充実している。	22%	20%	36%	10%	12%
	19	健康診断などの身体健康維持に対する指導をしている。	35%	29%	9%	3%	24%
	20	臨床心理士（全日制）がいるので安心感が持てる。	21%	21%	12%	3%	44%
考察		<ul style="list-style-type: none"> 事務職員の対応の評価は昨年並みであるが、本校だけでなく技能連携校の保護者・卒業生との対応もあるので多忙である。 本校の立地条件により近隣住民の方々に迷惑とならないよう周辺整備を行っている。 校内が手狭であることから様々な資料の提示・掲示などが満足にできない。 どうしても校舎・施設の充実については満足度が低い状況になってしまう。 スクールカウンセラーへの満足度が予想に反して少し低くなっている。 「毎週金曜日午前中に2名限定」が現状なので今後検討を要する。 					

